

北海道遠別農業高等学校

日本最北の農業高校として地域や人をつなぐ

活動背景・目的

本校の特色である「羊」と「もち米」を中心に、地域と連携しながら、食の生産から加工、販売を実施

日本最北の農業高校として注目されており、地域と連携した学校づくりを目指しています。食生活の大切さを学ぶため、生産者としての立場で、食の生産から加工、販売までの実習をしながら学ぶことができる場所です。

農業高校を核にコミュニティを形成し、地域の人をつなぎ、人の心の教育も大切にしています。

活動内容

- 本校で飼育しているサフォーク種の「北海道サフォーク種羊共進会(士別市)」への出品
- 管内の4Hクラブと連携したラム肉を活用した肉味噌の開発
- 肉味噌を使用し、羊の顔を肉まんの表面に表した「羊肉まん」の開発及びマルシェやイベントでの販売
- 韓国への農業視察研修(3年生)
- 町内農業者と連携したドローンによるもち米の直播栽培試験の実施
- ASIAGAPの維持・更新
(もち米、ジャガイモ、たまねぎ)
- 有機JAS認証の取得
(たまねぎ)
- 遠別町と連携したふるさと納税返礼品への提供
(もち米、メロン、たまねぎ)
- 「えんのうマルシェ」の開催による実習生産物の販売実習の実施

今後の展望・課題など

今年度は、何のためにその取り組みを行うのかといった目的の確認や、取り組みの実施によりどのような教育効果を得られるかを意識し、一つ一つの地域と連携した取り組みが充実したものとなるよう、事前準備や授業、振り返りを行ってきました。それにより、教員が取り組みの意義をしっかりと生徒に伝え、生徒自身が意欲をもってそれぞれの取り組みに参加するようになり、教育活動が活発化してきました。

ほとんどの生徒が、高校に入学してはじめて「農業」という産業に触れる中、「生産者」の立場で物事を考えることで、食の大切さを認識していますが、今後も、持続可能な農産物の生産や地域振興につながる商品開発に向け、地域の農業者や産業界の方と連携しながら、改善を図りながら活動を続けていきます。

活動分類

■教育・子育て ■食・産業・観光

代表者:芳賀 雄太(学校長)

連絡先:

〒098-3541 天塩郡遠別町字北浜74番地

TEL/FAX:01632-7-2376

活動地区:遠別町



▲ サフォーク種羊共進会への出品の様子



▲ 新たに開発した「羊肉まん」



▲ 出荷に向けたメロンの選果の様子